

日本音楽集団

PRO MUSICA NIPPONIA



関西特別公演

～長澤勝俊 永遠に～



2010年12月3日[金]
午後7時開演(午後6時30分開場)
豊中市立アクア文化ホール

- ：主催：特定非営利活動法人日本音楽集団
：助成：文化芸術振興費補助金
：後援：豊中市・豊中市教育委員会・豊中市文化芸術連盟・(有)邦楽ジャーナル社
■日本音楽集団：http://promusica.or.jp/ E-mail office@promusica.or.jp



長澤勝俊 音に命を吹き込む…

日本音楽集団代表 田村拓男

ようこそお越しくございました。私たちの演奏を聴いて頂けますことを大変嬉しく思います。今回は～長澤勝俊 永遠（とわ）に～と題しての長澤作品特集です。氏は2008年1月に亡くなりましたが、その作品群は、ますます輝きを増しながら日本各地で演奏されています。

長澤氏は、作曲家になる夢をたたれ、大学も中途のまま、昭和18年12月、徴兵令状を受けて入隊しました。訓練のあと広島の子品からどこに行くとも告げられないまま輸送船に乗せられました。その時、持って行ったものは日本刀とベーターベンの「エロイカ」のスコア。やがて終戦と知り、そのスコアは焼いてしまった。“絶対に生きて帰れない、負けたら殺される”と生きていたし、一緒に死ぬつもりでスコアでしたから…。それから4年近くの捕虜生活。その間、演芸隊で覚えたアコーディオンが役立ち、帰国後は運良く人形劇団ブークに入団、日本中を旅します。そして、日本音楽集団の結成に参加するや、珠玉の名品と謳われる数々の作品を生み出しました。人を愛し、自然を愛し、命と平和の大切さを訴えようとする彼の音楽は心にしみ入ります。（記念冊子「長澤勝俊 音に命を吹き込む…長澤音楽のすべて」より一部引用）

日本音楽集団は今年創立46年目。9月には200回目の定期演奏会を迎えました。第一部の冒頭では演奏者の口上から始まり、長澤作品が切れ目なく流れるように続き、中では長澤本の朗読も入るといった演出でした。

今宵もどうぞ長澤勝俊の世界をお楽しみ頂きますように…。

一、朱輪金鈴（1971）

〔笛〕 竹井誠

〔尺八〕 I 宮田耕八朗 II 渡辺淳 III 原郷隆 IV 元永拓 V 阪口夕山 VI 米澤浩

〔細棹三味線〕 杵家七三 〔太棹三味線〕 山崎千鶴子

〔琵琶〕 久保田晶子

〔箏〕 I 熊沢栄利子・久東寿子 II 桜井智永・田村法子

〔十七絃〕 城ヶ崎美保・久本桂子

〔打楽器〕 尾崎太一・仙堂新太郎・白杵美智代

〔指揮〕 田村拓男

「朱輪」とは装飾古墳にみられる同心円の輪（太陽を表しているといわれている）。「金鈴」とは副葬品の中から発見された小さな金の鈴。数多く見た古墳の中から最も強く私に訴えかけてきたものを二つ選び「朱輪金鈴」と名づけました。この曲は古代人の夢を大らかに描いた幻想曲風な作品です。なお打楽器の中には、中国古代の石の楽器「磬（けい）」と四国で採れた「サヌカイト」という石がつかわれます。（作曲者）

二、樹冠（1978）

〔二十絃〕 I 熊沢栄利子 II 桜井智永

〔十七絃〕 城ヶ崎美保

〔尺八〕 阪口夕山

樹冠とは、樹木の枝や葉の茂っている部分である。その若々しい樹木の茂りを、4人の演奏者による、たくましく、華やかな個性のぶつかり合いをイメージして命名したとのこと。現在では、二十絃箏の代わりに十三絃を用いて、四重奏、五重奏の楽譜も販売されていますが、今回は、初演バージョンの編成で演奏します。

三、尺八協奏曲 (1979)

〔独奏尺八〕 宮田耕八朗
〔笛〕 竹井誠
〔尺八〕 渡辺淳
〔三味線〕 杵家七三
〔琵琶〕 久保田晶子
〔箏〕 I 桜井智永 II 田村法子
〔十七絃〕 久本桂子
〔打楽器〕 尾崎太一・仙堂新太郎
〔指揮〕 田村拓男

長澤勝俊が精魂を傾け作りあげた威風堂々とした協奏曲である。協奏曲といえ、或る楽器の名演奏家の技術を披露するために、その楽器のもつ音の美しさを聞かせながら、奏者の技巧の限りをつくして演奏し、管弦楽と対立させながら協奏する音楽である。

本日は、初演時の独奏を演奏した名手宮田耕八朗と初演を指揮した田村拓男により演奏されます。中間部の尺八のカデンツァは、宮田耕八朗の作曲である。

・・・休憩・・・

四、萌春 (1971)

〔箏〕 久東寿子
〔尺八〕 宮田耕八朗

尺八と箏の二重奏は、長澤氏にとっては初めての試みであるが、その二者がこの作品では表裏一体となってお互いに相手の楽器を浮き立たせ、自らも主張しながら見事に両立している。尺八は、晴天を謳歌して青空に飛翔する鷹のように、朗々と、屈託のない、たおやかな響きで演奏されます。箏はまた自然の流れに逆らうことなく、最も美しい絃を響かせながら、実に流動的に尺八主導に沿って、全体の起伏を綾取っている。

五、二つの舞曲 (1970)

〔笛〕 竹井誠
〔尺八〕 I 宮田耕八朗・渡辺淳 II 元永拓・阪口夕山 III 米澤浩・原郷隆
〔三味線〕 杵家七三・山崎千鶴子
〔琵琶〕 久保田晶子
〔箏〕 I 熊沢栄利子・久東寿子 II 桜井智永
〔二十絃〕 田村法子
〔十七絃〕 城ヶ崎美保・久本桂子
〔打楽器〕 尾崎太一・仙堂新太郎・臼杵美智代
〔指揮〕 田村拓男

民俗芸能の中にある「舞い」や「踊り」を素材とした自由な舞曲で、民衆のたくましいエネルギーを表現しています。尺八の深い悲しみを湛えた旋律で始まる第一章は、次第に緊迫感を加え、早いテンポの掛け合いを経て、ついに力強い総奏に達します。悲しみに打ち勝つたくましい抵抗力といえましょう。鈴の音に導かれてゆっくりと消えるように終わります。拍子木が第二章の開始を告げます。この楽章は一転して、激しい群舞の饗宴です。澁漉としたリズムが曲を締めくくります。(第172回定期～クリティックス・プロジェクト・シリーズ～石田一志「祈りと踊り」のプログラムより抜粋)

日本音楽集団メンバー

(楽器別・五十音順)

笛
竹井 誠
西川 浩平

箏
西原 祐二

尺八
大賀 悠司
阪口 夕山
原郷 隆
藤崎 重康
水川 寿也
三橋 貴風
宮田 耕八
元永 拓
米澤 浩
渡辺 淳

胡弓
多々良 香保里

三味線
在原 富士江 ※
杵家 七三 ※
坂口 美香 ※
穂積 大志
箕田 弘大
箕田 司郎
守啓 伊子
山崎 千鶴子

琵琶
久保田 晶子
首藤 久美子
田原 順子
藤高 理恵子
細川 華鶴子

箏
伊藤 麻衣子
久東 寿子
熊沢 栄利子
桜井 智永
佐藤 里美
島崎 春美 ※

城ヶ崎 美保子
田村 法子
彦坂 恵美子
久本 桂子
前川 美保子
丸岡 映美子
三宅 礼子
宮越 圭子
山田 明美子
渡辺 正子

打楽器
白杵 美智代
尾崎 太一
黒坂 昇香
島村 聖香
仙堂 新太郎
多田 恵子
望月 太喜之丞
山内 利一
盧 慶順

指揮
稲田 康男
田村 拓男
田村 文生

作曲
秋岸 寛久
川崎 絵都夫
篠田 大介
高橋 久美子
福嶋 頼秀

楽器・舞台
中島 隆

事務局
中山 美穂子
百武 幸子

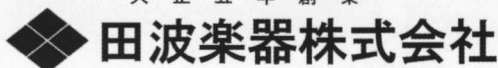
永久名誉団員
長澤 勝俊

(※は休団中)

2010年10月現在

高級手造り琴・三絃・尺八製造販売

大正五年創業



田波楽器株式会社

〒550 大阪市西区九条南2丁目16-36
-0025 TEL (06) 6586-0633 (代表)
FAX (06) 6583-7566
近鉄百貨店 阿倍野店和楽器売場

磨き抜かれた竹のひびき

小林一城 銘尺八

〒564-0073 大阪府吹田市山手町2-16-38
TEL.06-6389-2033 FAX.06-6389-5844

不動産売買・賃貸・建物管理・総合建設業



服部ライフサポート株式会社

〒561-0808 豊中市穂積2丁目3番8号
TEL 06-6862-7000 FAX 06-6868-2922
<http://www.hattori-ls.com>

● 日本音楽集団プロフィール ●

私たちの伝統楽器で現代に生きる私たちの音楽を創ろう…。こうした旗印の下に流派を超えて集まった演奏家と作曲家14人により1964年に結成。現在は60名をこえる団員が所属。年間4回の定期演奏会を中心に、全国各地でのコンサート、学校公演を含むさまざまな分野での演奏活動を展開。芸術祭大賞及び奨励賞（文化庁）、音楽之友社賞、松尾芸能賞、モービル楽器賞などを受賞。1999年よりNPO法人。

● 賛助会員へのお誘い ●

1999年10月、特定非営利活動法人日本音楽集団が発足したのを契機に、賛助会員を募集しています。多くの方々からの支援を仰ぎ、息の長い活動の定着と発展を目指したく、ご協力をお願い申し上げます。

年間 個人会員10,000円（一口以上） 法人会員30,000円（一口以上）

詳細は日本音楽集団事務局までお問い合わせ下さい。
またホームページにおいても、お申込み方法など詳しくご案内しております。

特定非営利活動法人

日本音楽集団

〒151-0073 東京都渋谷区笹塚3-17-1 滝沢ビル302 TEL03-3378-4741 FAX03-3376-2033
ホームページURL <http://www.promusica.or.jp/> E-Mail office@promusica.or.jp